



2024年6月27日

各位

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社
代表者 取締役社長 堀田 佳伸
(コード：6023 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 水科 隆志
(TEL. 06-6454-2331)

取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高めより充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

今期は、より客観的な視点を取り入れるため、外部機関の協力を得て取締役会実効性評価を実施いたしました。以下の項目に関して、取締役10名および監査役3名全員に、匿名アンケートを行い、その結果について、2024年6月27日開催の取締役会で分析・評価をいたしました。

- I. 取締役会の構成について
- II. 取締役会の運営について
- III. 取締役会の議題について
- IV. 取締役会を支える体制について
- V. 取締役会としての株主との対話
- VI. 取締役・監査役による自己評価

2. 評価の結果（概要）

評価の結果、取締役会全体の実効性については、概ね適切に確保されていると評価されました。前期アンケート結果をもとに見直しを図ったことから、今期アンケートでは全体的に改善する結果を得ました。一方で、以下の点について、議論の必要性を認識いたしました。

	課題	対応方針
I	取締役会の多様性確保と業界知識の向上	当社に求められる多様性及び業界知識の必要性について認識し、今後登用される役員の選任基準について検討してまいります。
II	取締役会の議題の事前検討時間	社外取締役を含めて事前検討時間が確保されるよう、その体制整備について検討してまいります。

	課題	対応方針
Ⅲ	経営陣の後継者計画	指名・報酬諮問委員会の答申を受けて、経営陣の後継者計画の方向性を議論し、今後の具体的な取り組みに役立ててまいります。
	指名・報酬諮問委員会との答申の充分性	指名・報酬諮問委員会の答申が十分に活用されるよう、取締役会において期待される監督機能を発揮してまいります。
Ⅳ	独立社外者同士の会合の必要性	社外取締役の意見を踏まえ、必要な体制を検討してまいります。
Ⅴ	少数株主との建設的な対話を促進するための体制整備	体制整備や取り組み方針について、取締役会における議論を深めてまいります。

3. 今後の取り組み

当社取締役会は、本評価結果によって確認された課題や各取締役からの提言を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けた施策を実行してまいります。

以 上